

「孤児の会」元代表 金田さんが体験記出版



「戦争は弱者を犠牲にする」を出版した金田茉莉さん=蕨市で

「生きている間に伝えたい」

戦争、空襲とはどういうものか…

「戦争孤児の会」元代表で蕨市在住の金田茉莉さん(88)が「戦争は弱者を犠牲にする」(図書出版ぐんぶる)を出版した。太平洋戦争の東京大空襲で孤児になった金田さんの体験などを記した。「人が起こした戦争でつらい生活を強いられたのに、孤児は顧みられていなかった。戦争とは、空襲とはどういうものか、生きているうちに伝えたい」と話す。

【岡礼子】

東京・浅草で生まれ育った金田さんは1945年3月10日の朝、疎開先の宮城県から夜行列車で東京に戻った。未明にあつた東京大空襲の直後だ。家族に会えるのを楽しみに列車に乗っていた子供

たちは、まだ煙が立ちこめる中、上野駅に着いた。駅を出ると見渡す限りの焼け野原で建物は何も見えない。小学3年生だった金田さんは「どこに着いたんだろう」とわからなかつ黒になって服はぼろぼろ、髪もちりちりに

焦げ、変わり果てた人たちがいた。「魂の抜け殻のような表情で静まりかえっていた。火の海を逃げ回ってどん

たまま、金田さんの家族を見つからず、親戚をたらしにさされ。金田さんが「地獄に突き落とされたようなもの」と振り返るつらいう生活が始まった。

一般には、親戚に預けられたら安心と考え

られているかもしけな

いが、当時はどこも食糧不足で、子供の数も多い。金田さんは「親

を失い、帰るところも

なかった」。道には炭の塊

みたいなものが山になっていた。後に黒焦げの遺体と分かったが、その時の光景は今も夢に見るという。

避難所に行くと、真

りの焼け野原で建物は

何も見えない。小学3

年生だった金田さんは

「どこに着いたんだろう

う。わけがわからなかつ黒になって服はぼろぼろ、髪もちりちりに

焦げ、変わり果てた人

たちがいた。「魂の抜

け殻のような表情で静

まりかえっていた。火

の海を逃げ回ってどん

たまま、金田さんの家族を見つからず、親戚をたらしにさされ。金田さんが「地獄に突き落とされたようなもの」と振り返るつらいう生活が始まった。

一般には、親戚に預けられたら安心と考え

られているかもしけな

いが、当時はどこも食

糧不足で、子供の数も

多い。金田さんは「親

を失い、帰るところも

なかった」。道には炭の塊

みたいなものが山にな

っていた。後に黒焦げの遺体と分かったが、

その時の光景は今も夢に見るという。

避難所に行くと、真

りの焼け野原で建物は

何も見えない。小学3

年生だった金田さんは

「どこに着いたんだろう

う。わけがわからなかつ黒になって服はぼろぼろ、髪もちりちりに

焦げ、変わり果てた人

たちがいた。「魂の抜

け殻のような表情で静

まりかえっていた。火

の海を逃げ回ってどん

たまま、金田さんの家族を見つからず、親戚をたらしにさされ。金田さんは「地獄に突き落とされたようなもの」と振り返るつらいう生活が始まった。

一般には、親戚に預けられたら安心と考え

られているかもしけな

いが、当時はどこも食

糧不足で、子供の数も

多い。金田さんは「親

を失い、帰るところも

なかった」。道には炭の塊

みたいなものが山にな

っていた。後に黒焦げの遺体と分かったが、

その時の光景は今も夢に見るという。

避難所に行くと、真

りの焼け野原で建物は

何も見えない。小学3

年生だった金田さんは

「どこに着いたんだろう

う。わけがわからなかつ黒になって服はぼろぼろ、髪もちりちりに

焦げ、変わり果てた人

たちがいた。「魂の抜

け殻のような表情で静

まりかえっていた。火

の海を逃げ回ってどん

たまま、金田さんの家族を見つからず、親戚をたらしにさされ。金田さんは「地獄に突き落とされたようなもの」と振り返るつらいう生活が始まった。

一般には、親戚に預けられたら安心と考え

られているかもしけな

いが、当時はどこも食

糧不足で、子供の数も

多い。金田さんは「親

を失い、帰るところも

なかった」。道には炭の塊

みたいなものが山にな

っていた。後に黒焦げの遺体と分かったが、

その時の光景は今も夢に見るという。

避難所に行くと、真

りの焼け野原で建物は

何も見えない。小学3

年生だった金田さんは

「どこに着いたんだろう

う。わけがわからなかつ黒になって服はぼろぼろ、髪もちりちりに

焦げ、変わり果てた人

たちがいた。「魂の抜

け殻のような表情で静

まりかえっていた。火

の海を逃げ回ってどん

たまま、金田さんの家族を見つからず、親戚をたらしにさされ。金田さんは「地獄に突き落とされたようなもの」と振り返るつらいう生活が始まった。

一般には、親戚に預けられたら安心と考え

られているかもしけな

いが、当時はどこも食

糧不足で、子供の数も

多い。金田さんは「親

を失い、帰るところも

なかった」。道には炭の塊

みたいなものが山にな

っていた。後に黒焦げの遺体と分かったが、

その時の光景は今も夢に見るという。

避難所に行くと、真

りの焼け野原で建物は

何も見えない。小学3

年生だった金田さんは

「どこに着いたんだろう

う。わけがわからなかつ黒になって服はぼろぼろ、髪もちりちりに

焦げ、変わり果てた人

たちがいた。「魂の抜

け殻のような表情で静

まりかえっていた。火

の海を逃げ回ってどん

たまま、金田さんの家族を見つからず、親戚をたらしにさされ。金田さんは「地獄に突き落とされたようなもの」と振り返るつらいう生活が始まった。

一般には、親戚に預けられたら安心と考え

られているかもしけな

いが、当時はどこも食

糧不足で、子供の数も

多い。金田さんは「親

を失い、帰るところも

なかった」。道には炭の塊

みたいなものが山にな

っていた。後に黒焦げの遺体と分かったが、

その時の光景は今も夢に見るという。

避難所に行くと、真

りの焼け野原で建物は

何も見えない。小学3

年生だった金田さんは

「どこに着いたんだろう

う。わけがわからなかつ黒になって服はぼろぼろ、髪もちりちりに

焦げ、変わり果てた人

たちがいた。「魂の抜

け殻のような表情で静

まりかえっていた。火

の海を逃げ回ってどん

たまま、金田さんの家族を見つからず、親戚をたらしにさされ。金田さんは「地獄に突き落とされたようなもの」と振り返るつらいう生活が始まった。

一般には、親戚に預けられたら安心と考え

られているかもしけな

いが、当時はどこも食

糧不足で、子供の数も

多い。金田さんは「親

を失い、帰るところも

なかった」。道には炭の塊

みたいなものが山にな

っていた。後に黒焦げの遺体と分かったが、

その時の光景は今も夢に見るという。

避難所に行くと、真

りの焼け野原で建物は

何も見えない。小学3

年生だった金田さんは

「どこに着いたんだろう

う。わけがわからなかつ黒になって服はぼろぼろ、髪もちりちりに

焦げ、変わり果てた人

たちがいた。「魂の抜

け殻のような表情で静

まりかえっていた。火

の海を逃げ回ってどん

たまま、金田さんの家族を見つからず、親戚をたらしにさされ。金田さんは「